

## 原水爆禁止 2019 年世界大会へのメッセージ

(令和元年 8 月 5 日(月), 於: 広島市)

原水爆禁止 2019 年世界大会の開催をお喜び申し上げます。

世界平和・核兵器廃絶を願い、活動が続けておられる皆様方に対し、心から敬意を表します。

広島・長崎に原爆が投下されて74年を迎え、生存する被爆者数は、毎年約1万人ずつ減少し、昨年3月末時点で15万5,000人を切りました。そんな中、広島・長崎の両被爆地で取り組まれている、被爆体験伝承者の育成事業等は、世界唯一の被爆国である日本にとって、大変意義深い重要な事業であると考えております。

高知市では、全ての核兵器廃絶を訴え、1984年に「非核平和都市宣言決議」を、また1989年には8月6日を「高知市平和の日」と制定する決議を行いました。それ以降、「高知市平和の日」記念事業を継続して実施してまいりました。昨年度は、「核と被曝」をテーマに、広島から被爆体験伝承者をお迎えし、原爆によってもたらされた、決して癒えることのない傷、忘れることのできない悲しい記憶、そして未来への恒久平和を望む強い想いに触れ、改めて平和の大切さについて考えさせられました。

今年度も引き続き、平和事業を通して、多くの市民の方々と共に、いのちの尊さ、平和を守ることの大切さについて考える契機となるよう取り組みたいと思います。

結びにあたり、本日ご参集されております皆様方の平和への熱い思いが、人々の共感とともに世界に広がり、一日も早く核兵器のない平和な世界が実現することを願ひまして、私からのメッセージといたします。

高知市長 岡崎 誠也